



聖書の動物たち



～愛はいつまでも続く～

愛根



目次

聖書の動物たち	1
---------------	---

聖書の動物たち

はじめに

皆さま、お久しぶりです☆

愛根です☆

キリスト教会にまた通おうとしている、
信仰歴9年のクリスチャンです。

もうそろそろクリスマスです。

私はクリスマス礼拝で洗礼を受けましたので、
クリスマスは大好きです。

何か、こう心が湧きたつ気持ちになります。

いっぱい投稿したい～、みたいな。

聖書にはいろいろな個性ある動物たちが

たくさんおられます。

一つとして、神さまの愛から漏れる動物さんはいなくて、
みんな神さまから愛されています。

私たち一人一人も神さまから平等な愛が与えられており、
それは十字架の愛です。

いのちを捨てる愛で私たちを愛してくださいました。

この本で神さまの愛に触れていただけましたら、
愛根としては嬉しい限りです。

では、始めます。

神さまの愛した動物たち。

聖なる目次☆

- ・ 鳥
 - ・ 岩だぬき
 - ・ 雀
 - ・ コオロギ
 - ・ 羊
- おわりに

・鳥

鳥さん。旧約聖書では汚れた動物として、神さまは忌み嫌うように命じ、
食べないように言われました（普通食べません）

また、鳥のうちで次のものを忌むべきものとしなければならない。これらは忌むべき
もので、食べることはできない。すなわち、禿鶯、禿鷹、黒禿鷹、
鳶（とび）、隼（はやぶさ）の類、
鳥の類すべて、
レビ記 11：13～15

しかし、神さまはこの鳥に目を留められ、
飢えているときに餌を備えてあげます。

鳥に餌を備えるのはだれか。
鳥の子が神に向かって鳴き叫び、
食物がなくてさまようときに。
ヨブ記 38：41

神さまは、私たちの訴えを必ず聞いてくれます。
その通りにしなくても必ず最善の道を開いてくださいます。
愛するわが子が飢えているなんて、
1分も我慢できないのです。
神さまへの愛が大きいほど、神さまは手厚く私たちを守ってくださいます。
この鳥のように☆

・岩だぬき

岩だぬきも私たちにとって汚れた生き物として登場してきます。
ただ、この岩だぬきさんは神さまに知恵者中の知恵者として、
絶賛されています。
神さまの考えることはとても不思議で、この世の理屈では全然割り切れないのです。

岩だぬき。これも反芻はするが、ひづめが分かれていないので、あなたがたには汚れた
ものである。
レビ記 11：5

この地上には小さいものが四つある。
それは知恵者中の知恵者だ。

蟻は力のないものたちだが、
夏のうちに食糧を確保する。
岩だぬきは強くないものたちだが、
その巣を岩間に設ける。
いなごには王はいないが、
みな隊を組んで出陣する。
ヤモリは手で捕まえられるが、
王の宮殿にいる。
箴言30：24～28

反芻はする……。
みことばをよく考えるということでしょうか。
ひずめが分かれていない……。
行動的ではないということでしょうか……。

うちの牧師先生もたぬきっぽいと思いましたが、
聖書知識は群を抜いています。
ヘブル語とギリシャ語が扱え、旧約聖書にも詳しいです。
私の尊敬する先生なのです。
洗礼もしてくれたし。
私の動物占いも「たぬき」笑

・雀

イスラエルでは雀を何のために売っていたのでしょうか？
食べるためだと思いますが（私は飼いたいです）、
雀さんはとっても安いです！！

二羽の雀は一アサリオンで売られているではありませんか。そんな雀の一羽でさえ、
あなたがたの父の許しなしに地に落ちることはありません。
マタイの福音書10：29

一アサリオン……。
アサリオンは通貨の単位で1デナリ（1日分の給料くらい）の16分の1。
給料が1万円として、625円。
雀をどうしたんでしょうか？
新改訳の聖句検索で雀を探しましたが、いけにえに用いる風習はないようです。
1羽300円！！
クリスチャンはもうすぐ迫害の時代がやって来ます。
世界統一政府、世界統一宗教、獣の刻印……。

携挙という患難期前の再臨がなかったら、
クリスチャンは殺されるだけです TT
世界統一宗教はカトリックが絡んでみたいのです。
カトリックとイスラム教スンニ派とユダヤ人たちがやるみたいです。
<https://ameblo.jp/yukof41818/entry-12709188537.html>
(参考までに☆)
とっても気を付けた方がいいのです.....。

・コオロギ

コオロギは汚れた動物ではありません（新約聖書になると
イエスの血潮によりみんなきよい動物☆）（コオロギは旧約からきよい）
とっても可愛いです！！

それらのうち、あなたがたが食べてもよいものは次のとおりである。いなごの類、毛
のないいなごの類、コオロギの類、バッタの類。

レビ 11 : 22

ショウリョウバッタも食べていいなんて.....。

誰が食べるんでしょう？

いなごとといえば、バプテスマのヨハネさんが、
徹底した禁欲生活により、いなごと野蜜しか食べませんでした☆

このヨハネはらくだの毛の衣をまとい、腰には革の帯を締め、その食べ物はいなごと
野蜜であった。

マタイの福音書 3 : 4

いなごを捕まえて、どうされたんでしょう？

ここまでできる人はそうはいません。

愛根も悲しいかな無理です。

ジーザスさまはバプテスマのヨハネが大好きで、
女から出た者で彼より偉大な人はいないと絶賛しました。

まことに、あなたがたに言います。女から生まれた者の中で、バプテスマのヨハネよ
り偉大な者は現れませんでした。しかし、天の御国で一番小さい者でさえ、彼より偉大
です。

マタイの福音書 11 : 11

バプテスマのヨハネは最後に投獄されて、イエスさまの信仰告白ができなくなっていま
した。

そのため天の御国の一番小さい者でさえ、彼より偉大とジーザスさまが言ったのかもしれない。

ほんとにバプテスマのヨハネは天国へ行っていてほしいです。

天国というのはそんなに狭い門なのか？

愛根には分からないのでした。

・羊

愛根の聖書知識が不足で、最後の羊に来てしまいました。

私たちクリスチャンは羊にたとえられています。

聞くところによると、羊さんは目が悪く、弱く、迷子になりやすく、羊飼いが付きっきりで面倒を見なくてはならないそうです。

私たちクリスチャンも弱く、迷いやすく、

ジーザスさまなしでは生きていくことができません。

ジーザスさまの愛なしでは、私たちは生きていくことができません。

牧師先生も羊飼いなのですが、最良の羊飼いはやっぱりイエスさまなのです☆

ダビデの賛歌。

主は私の羊飼い。

私は乏しいことはありません。

主は私を緑の牧場に伏させ いこいのみぎわに伴われます。

詩篇 23：1、2

恵みを際限なく注ぎ、いつもいたわってくださいます。

必要な物はすべて補い、傷ついた心はケアする。

それが、イエスさまのみこころなのです☆

ただ、主をわが牧者、救い主、信じるべき方とするだけですのに……。

必要な物はすべて主が用意してくださいます。

魚が欲しい子どもにへびは与えません笑（マタイ 7：10）

私たちに必要なのは主の愛なのです。

おわりに

いかがだったでしょうか？

聖書の雰囲気だけでも分かってくだされば、

私は嬉しいです。

今年のカマキリを捕まえたかったのですが、
近くの墓地にある、草が刈り取られてしまって、
ショックでした。
小さなバッタとカナブンとセミに触れ合うことができ、
ほんとに嬉しかったです。
これから先、世界は患難期に向かうと思います。
殉教するにしても神さまの御手の中。
そこまでひどいことにはならないと思いますし。

イエスさまへの信仰を守り通すというのが、
何より大事です。
神さまは私たちを終末の中でも守ってくださいます☆

あなたは忍耐についてのわたしのことばを守ったので、地上に住む者たちを試みるために全世界に来ようとしている試練の時には、わたしもあなたを守る。
ヨハネの黙示録3：10

私たちは神さまに愛されている、永遠の御国の民なのです。
天国ではもうあなたの愛しかない。
永遠に幸せに生きていける喜びの場所なのです。

アーメン。

2022/10/13

愛根

使用聖書：新改訳2017

可愛い愛根ブログ♪

<https://ameblo.jp/lapis-2019/>

愛根 HP

<https://aineshinestar.wixsite.com/yorokobi>

聖書の動物たち

著 愛根

制作 Puboo
発行所 デザインエッグ株式会社
